



第4号

野洲市手をつなぐ育成会

発行者 島村雅子

印刷所

っこり作業所
TEL588-0503

一年を振り返って

会長 島村 雅子

平成二十年度の会長という大役を引き受けたものの出来るのだからかと不安なスタートでした。保護者会員数一三〇名、年齢層も幅広く、より多くの皆様に参加してもらえらる行事をと役員で内容を考えました。どう進めていけばいいのか迷った時、先生方をはじめ皆様のご理解ご協力は大変ありがたく、多くの方との出会いも本会の力となりました。皆様のお陰も

ちまして各行事を無事と行いうことができました。心よりお礼申し上げます。

また、行事の打ち合わせがいつの間にかお互いの悩みを語り合う場になっていったのは、今思えば自分の思いを出せる大切な時間となつていったようです。気軽に話せる場を作るのも育成会の役目ではないかと思いました。

今後におきましても、より豊かな育成会の活動が出来ますように皆様の暖かいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

祝ご卒業。そして、チャレンジ精神を!

相談役 太田 源太郎

一、まずは、それぞれのご卒業をお祝い申し上げます。今までの学校生活で自分の取得した宝物は何であつたかを一つ二つまとめてください。

二、人間は、何の為に生きるか。私は、今年満八十歳になりましたが、毎日のように「生きる目的」を探求しています。人間にとって一番大切なことは「生

きる喜び(歓び)」を感じることです。「生きる喜び(歓び)」を感じることのできるのは「自分の好きなこと」に挑戦チャレンジすることです。これを成功させる為には厚い壁を破り、けわしい崖を登らねばなりません。でも、最初の一步は「自分の好きなこと」へのチャレンジです。

「一歩一歩を大切に... 私達は、みなさんをしつかり見つめています。応援します。」

ご卒業おめでとうございます。学校で、お友達と一緒に行きつづいて卒業する人たちに、大変心強い大きな贈り物、力になりませう。卒業してからも、「どうしようこまったな、どうしたらいいんだらう。」と考えることがあつたら、すぐに連絡をください。野洲市にはみなさんの力になってくれる仲間がたくさんいます。野洲市発達支援センター「きらきら」発行

やりがいを感じられる社会に

副会長 久郷 悟

「毎日幸せに過ごす」やさしいうで、たいへんむずかしいことです。卒業した後、学校で学んだことに自信を持つてがんばつて下さい。「フアイト」この一言です。みなさんのがんばりが、あとに

した遊びを大事にしてください。仕事でがんばつた後は、好きなことでリラックスする。そんな生活のバランスがいつまでも元気でがんばれる秘訣です。今年度四月に発達支援センターが開所しました。知的障がい、身体障がい、発達障がいのあるご本人やご家族との出会いの中で、ご本人の希望やご家族の思いを聞かせてもらいながら、安心して楽しく生活できるそんな野洲市をいっしょにつくっていきましょう!



成人期を楽しく過ごすために 発達支援センター 磯山 ひるみ

卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございませう。学校を卒業した後のこれから、の人生は六十年以上です。その長い成人期を楽しむや生きがいを持つて生活していくためには、仕事とともに生活の楽しみや趣味がとても大事です。小さいときから大好きだったもの、熱中



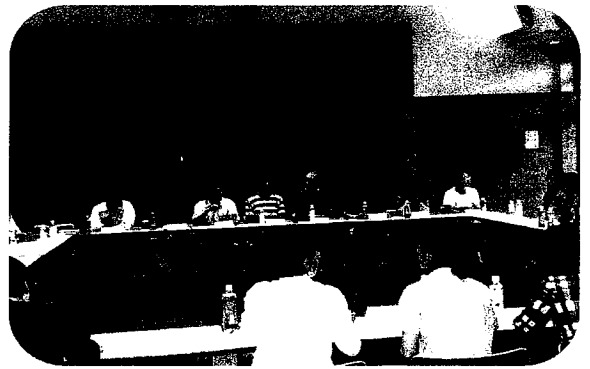
平成20年度野洲市手をつなぐ育成会事業報告

月	日	曜日	事業内容	開催場所	月	日	曜日	事業内容	開催場所
5	18	日	役員会	なかよし交流館	8	23	土	学習会I。「みんなでしゃべろう(卒業生とともに)」	コミセンきたの
5	28	水	滋賀県手をつなぐ育成会通常総会	滋賀県産業教育情報センター	10	18	土	チャリティバザー開催	アルプラザ野洲
5	31	土	役員会「幹事・保護者評議員会」	コミセンきたの	11	22	土	学習会II。「うちの子働ける?誰でも働ける!」	中央公民館
6	~30	月	会員募集		12	7	日	クリスマス会	コミセンきたの
6	14	土	野洲市手をつなぐ育成会総会及び保護者会	コミセンやす	2	11	祝	OBレクリエーション	栗東ボウリング・ジム
6	21	土	第4回障害者スポーツ大会	なかよし交流館	2	20	金	野洲市小中学校特別支援学級卒業を祝う会(後援)	さざなみホール
7	5	土	第27回滋賀県スペシャルスポーツカーニバル	長浜ドーム	2	21	土	21年度役員選出	中央公民館
7	20	日	第43回滋賀県知的障害者教育福祉振興大会	近江八幡市文化会館	3	5	木	広報「きらきら」発行	
8	1	金	野洲市福祉交流事業	マイアミランド					

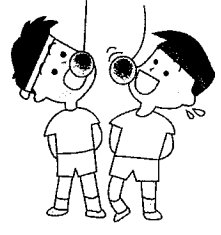
第一回学習会

「みんなでしゃべろう (卒業生とともに)」

八月二十三日(土)コミセンきたのにて行いました学習会には、にっこり作業所から五人、一般企業から二人の卒業生と保護者の方に来ていただきました。卒業生の方には仕事の内容や休日の過ごし方、お給料の使い道等お話ししていただき、保護者の方には心配事や就労までにつけておきたい力等教えていただきました。ご自分の仕事について話される卒業生の方の様子は本当に楽しそうで、在学中の子を持つ親としては「将来、こんなふう楽しく過ごせたらなあ。」という、目標を持たせていただきました。保護者の方の心配は尽きないということでしたが、卒業後も笑顔で暮らせるよう、今から少しずつがんばろうという気持ちにさせていただきました。学習会に卒業生とその保護者をお迎えするのは、今回初めての試みでしたが、具体的なお話をうかがうことができ、大変内容の濃いものとなりました。



スポーツ大会



六月二十一日(日)なかよし交流館にて第四回スポーツ大会が行われ、育成会からも親子で大勢の参加がありました。玉入れやパン食い競争に参加したり、ビンゴゲームで素敵な賞品を獲得したりして楽しい一日を過ごしました。



第二回学習会

「うちの子働ける？ 誰でも働ける！」

「うちの子働ける？誰でも働ける！」という内容で開催しました。前半は、働き・暮らし応援センター「里楽」の支援ワーカー倉場真弓さんから話を聞きました。支援ワーカーの方と連携をとりながら就労していただける方の様子や、就労支援についての話を聞きました。そのなかで、就労支援とは、①働くモチベーションを育てる、②自分を見つめる、③具体的な就労へのチャレンジ、④就労への定着、といったステップで「自分に合った働き方」をいっしょに考えていくことだという話がありました。



後半は、グループに分かれて話し合いをしました。発達支援センターの宇都宮先生・北野小学校の久郷先生にもグループに入っていたいただき、それぞれの思いを語り合いました。



十二月八日(日)コミセンきたのにてクリスマス会を行いました。立命館大学のアカペラサークル「ソングジェニックス」による素敵な歌声を聞いたり、いっしょに歌を歌ったり、飛び入りの落語やビンゴゲームで楽しみました。びわこ学園、野いちごのボランティアさんを含め約八十名が午後の楽しいひと時を過ごしました。

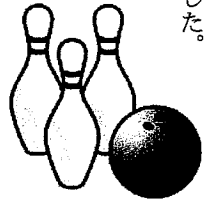
チャリティーバザー

十月十八日(土)アルプラザ野洲にてチャリティーバザーを行いました。会員の皆様をはじめ、多くの方々に物品を提供していただきありがとうございます。バザーの収益金は、本会の活動資金として有効に使わせていただきます。



OBボリング大会

二月十一日(祝)栗東ボリング・ジムにてボリング大会を行いました。お互いのプレーに声援をおくつたり、ハイタッチで喜びあう姿が見られたり、楽しい時間を過ごしました。



編集後記

野洲市手をつなぐ育成会広報「きらきら」第四号を発行しました。会員の皆さんの活動をお伝えできれば、うれしく思います。